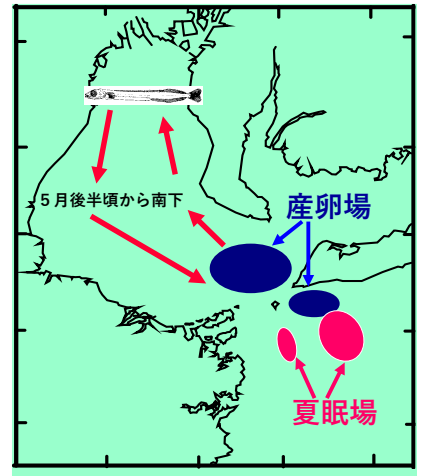


# 令和7年度三重県沿岸種資源評価

## イカナゴ

### 資源水準・動向

低位・不能



### 生物情報

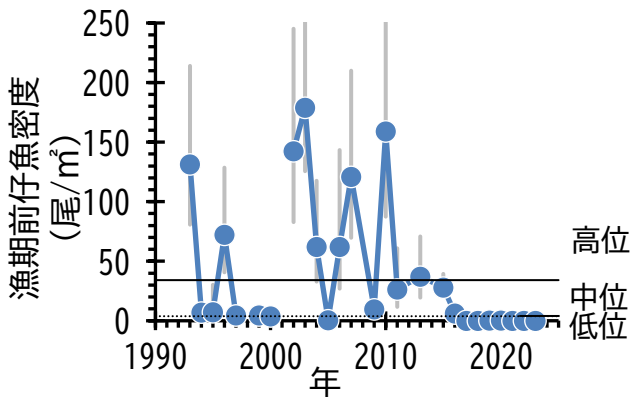
- ・当歳で体長7~10cmとなる。
- ・動物プランクトンを捕食する。
- ・当歳魚以降で性成熟する。産卵期は12~2月であり、湾口部の海底の砂~細石に沈性粘着卵を産み付ける。
- ・伊勢・三河湾で独立した系群と考えられている。

### 漁業の特徴

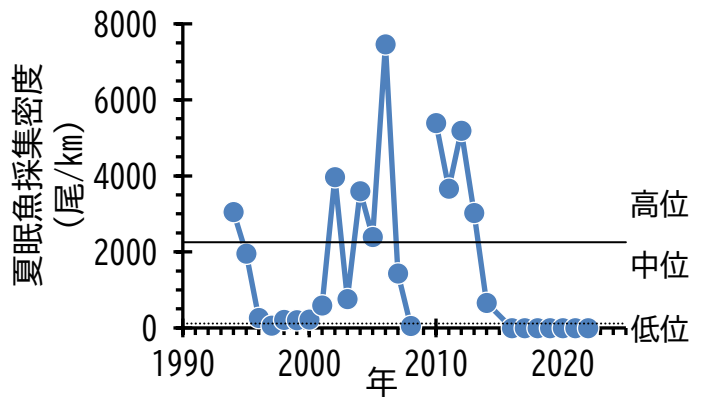
- ・幼稚魚あるいは未成魚（体長3.5~10cm）が主な漁獲対象となっている。
- ・仔魚・稚魚は船びき網、ばっち網で漁獲され、漁期は2~5月前後である。
- ・仔魚・稚魚の残存資源尾数が20億尾以上となるよう、漁業関係者・県・国が管理している。
- ・資源の減少と資源保護のため、2016年以降は操業を自粛している。

### 資源状態

- ・夏眠魚尾数と漁期前仔魚密度から資源水準は「低位」とした。
- ・2019年以降イカナゴの生体が確認されておらず、2023年以降は調査も実施されていないことから、動向は「不能」とした。



漁期前仔魚密度の資源水準と動向



夏眠魚尾数の資源水準と動向

### 資源管理の取組

- ・残存資源尾数一定方策、操業自粛

### 将来考えられる資源管理の取組

- ・操業自粛の継続、夏眠場の保護、漁獲努力量の削減、残存資源尾数の増加